

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



家庭で野菜が多く消費され、販売収入は貸付事業の基金となりました。

今回、この場をお借りして、「カラ＝西アフリカ農村自立協力会」が行なってきた支援を省みながら、私個人が考えていることをお話します。

過去20年、現地の村人と付き合いながら生活の改善を支援し、その変わりようを目にしてきました。その間学んだことは、彼らに潜在する能力がいかに豊かであるかということです。

例えば、出稼ぎ先から帰国した人によって、雑草だけの場所が切り拓かれ、新しい村に変わる様子を見てみると、「カラ」による支援と全く同じ経過でありながら、短期間で達成されていきます。感心すると同時に、果たして我々の支援は本当に必要なのか、と思うことが多くあります。

確かに、インフラの全く整備されていない場所での生活は、私たちの目線では「命を縮める場所」なのかも知れません。しかし、現地の人々は陽気で明るく勤勉で、悲しみも喜びも村一体となって受け入れ、上手に対処しています。もしかしたら私たちの行為は、現地の人々の心の妨げになってはいないでしょうか。

今宵は、まぶしいほどの月明かりです。月光に照らし出されたマンゴやニームの姿を見ながら、また風に乗ってくるバラフォンの音を聴きながら考えました。

カラ＝西アフリカ農村自立協力会 代表 村上一枝

皆様へのご挨拶とお礼

緑のサヘル 代表理事 岡本敏樹

厳しい寒さが続いています、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、凍み込むような寒さも和らぐような、素晴らしい知らせがありました。毎日新聞社が行なっている「地球未来賞」のうち、「クボタ賞」に「緑のサヘル」が選ばれたことです。この「地球未来賞」とは、「食料」「水」「環境」の3分野で、国内外の問題解決に取り組む個人・団体を顕彰するもので、今回が第1回になります。

これまで、現地の方々と共に行なってきた取り組みに対して、社会的な評価が得られたことに喜びと誇りを感じます。このような価値ある表彰を受けることが出来たのは、ひとえに「緑のサヘル」を支えてきて頂いた皆様のおかげであると感謝しております。本当に、ありがとうございました。

今回の表彰は、団体としての「緑のサヘル」だけではなく、ご支援下さっている皆様がお受けになったと同然のことです。皆様からの支えを力として、「緑のサヘル」はこれまで以上に力を尽くし、現地の方々に対する支援を続けていくつもりです。今後とも、お力添えとご支援のほど、宜しくお願い致します。

団体として活動が続けてきて感じることは、現地であっても国内であっても、大切なのは人と人のつながりだということです。現地のパートナーである AJPEE（環境保全畜産協会）や活動に参加している村の人々とのつながりがあってこそ、活動は成果を生み出します。国内では支援者や協力団体の方々とつながりがあってこそ、今回のような社会的な評価が得られるのだと考えております。このことを肝に銘じつつ、気を引き締めなおして活動に取り組んでいくつもりです。

これまでもそうでしたが、これから進んでいく道も歩きやすいものではないと覚悟しています。それでも顔を上げて、一歩ずつ踏みしめながら、皆様と共に歩んで行きたいと願っております。既に2月となり、時機を逸してしまった感は否めませんが、冷たい風を顔に受けながら、心を新たにした次第です。

今年は、寒波の影響で開花時期が大幅に遅れたものの、ようやく梅が咲き始めました。百花に先駆け寒さの中に凛として咲く梅の花は、この先の明るさと希望を示しているように思います。2012年が、皆様にとって良い年となることを願い、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



JICA 草の根技術協力事業

現地の住民が直面している大きな課題は、食糧の不足と生活用水の不足、そして現金収入の不足です。これらのうち、JICA 草の根技術協力事業では、食糧生産と現金収入の向上に取り組んでいます。今回は、女性たちが参加している家畜肥育の活動を紹介します。

この活動は、定期市で購入した羊をほぼ 1 年かけて太らせた後、より高値で販売して利益を得ることを目的にしています。イスラム教では年に 1 度、家族が集まって羊を食べるお祭りがあり、売り損なう心配はありません。



太らせるために購入された羊

2011 年は、ロルガ村とタンギエマ村で、30 名の女性により 47 頭の羊が肥育され、全て販売されました。女性たちが希望していた値段で売れたため、喜びもひとしおでした。手に入った利益は、教育費や医薬品の購入に使われました。現在、2 回目の肥育が始まっており、女性たちの意欲は高まっています。

ヤルカ村改良カマド普及プロジェクト



男性も一生懸命に作っていました

コングシ市から北に 25 キロのところにあるヤルカ村で、改良カマド普及のプロジェクトを行なっています。

改良カマドは、粘土や藁、家畜の乾燥糞など、現地で手に入る材料で作られたカマドです。石を 3 つならべただけの従来のカマドよりも燃焼効率が良く、薪の使用料を 40%～50%減らすことができます。このため、女性達の仕事である「薪集め」にかかる時間を短縮することができ、地域環境の保全につながります。

参加している女性グループはとても意欲的で、定期的集まってカマドの作製を行なっています。2011 年 12 月の時点で 96 個の改良カマドを作製し、48 の家庭で利用されています。また、改良カマドに興味を持った一人の男性が、女性に混じって一生懸命作製している姿も見られました。

タンザニアから



タンザニアでの村落調査

2011 年 10 月、ビクトリア湖の南に位置するムワンザ州において、生活改善活動や植林活動の可能性を探るため、村落調査を行いました。ムワンザ州では、人口増加による森林伐採、食糧の不足、労力の負担増など、様々な課題が生じています。

聞き取り調査を行なったムワンザ州ニャミゼゼ村の住民は、「雨季の降雨が長続きしないし、畑の栄養も乏しくなっているから農作物の成長が悪い。価格が高い化学肥料を使っているけど、収穫はとても悪く、近年は一日 2 回しか食事ができない。また、村の木々も少なくなり、薪集めが一苦労だ。植林をしたいが、やり方が分からない。」と、生活上の苦労を話してくれました。



聞き取りをしたニャミゼゼ村の住民の皆さん

ムワンザ州には、豊かな土地を求めて周辺地域から多くの人々が流入しました。その結果、森林は農地に変わり、家畜が増え、植生は減少し、土壌はやせてしまいました。

木を植えて薪を集めやすくし、改良カマドを普及して薪を節約する活動や、有機肥料を用いて土壌の回復を図り、収穫を増やす活動が期待されています。

チャドから



端境期の食糧確保が難しくなっています

サヘル地域の国々では、穀物生産の不振による食糧不足発生の懸念が深まってきています。降雨の不足と不順により、2011 年の穀物の収穫量が、例年より大幅に少なかったことが大きな原因です。チャドでも、事態は深刻です。

西部にあるカネン地域には、4 万人の住民が居住しています。地域にある村のうち 60%では、まったく収穫が出来ませんでした。また残りの 40%の村では、1 ヶ月分の穀物しか備蓄されていません。

これから、食糧の観点からするともっとも厳しい端境期が訪れます。国際組織や NGO は、強い危機感と共に、端境期を乗り切るための対策を早急に開始しなければならないと警鐘を鳴らしています。「緑のサヘル」は、1994 年と 2001 年に発生した飢饉の際、緊急支援を行ないました。焦燥感が募りますが、事態の推移に注意を払っていきます。

国内活動



今期の東京事務局は、事務局長 菅川による郷里・岩手県の各地での学校講演ほか、晩秋ならではの大型イベント 2 件に出展し、支援者の方々をはじめ多くの方々とふれあう機会が多くありました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

2011 年

11 月 7 日(月)	岩手県一戸町立 小鳥谷中学校 (1 年生 18 名、3 年生 16 名)	講演 (菅川)
8 日(火)	岩手県滝沢村立 滝沢東小学校 (5 年生 52 名)	講演 (菅川)
	チャリティ☆ナイト「音楽と ART が世界をデザインする」	共催
12 日(土)	緑のサヘル岩手報告会 2011 (一般参加)	講演 (菅川)
	アフリカン・フェスタ 2011 (横浜 山下公園：～13 日)	出展
14 日(月)	岩手県盛岡市立 桜城小学校 (5 年生 64 名、6 年生 58 名)	講演 (菅川)
15 日(火)	岩手県盛岡市立 下小路中学校 (3 年生 182 名)	講演 (菅川)
16 日(水)	岩手県一関市立 花泉中学校 (1 年生 123 名、2 年生 130 名、3 年生 112 名)	講演 (菅川)
19 日(土)	岩手県葛巻町立 江刈中学校 (1～3 年生 45 名)	講演 (菅川)
12 月 13 日(火)	チャリティ☆ナイト「“アフリカ流” 年末の過ごし方」	共催
15 日(木)	エコプロダクツ展 2011 (東京ビックサイト：～17 日)	出展

2012 年

1 月 10 日(火)	チャリティ☆ナイト (2012 年アフリカ新年会)	共催
-------------	---------------------------	----

☆ イベントに出展しました ☆

「イベントの秋」とよく言われますが、2011 年は、前号 (NL48) でお伝えしました京都・兵庫でのイベント (9 月開催) を皮切りに、10 月の「グローバル・フェスタ」や「よこはま国際フェスタ」、11 月の「アフリカン・フェスタ」、そして 2 回目の参加となった「エコプロダクツ展」など、大型イベントへの出展が目白押しとなりました。



今回の「アフリカン・フェスタ」は、例年会場となっている横浜の赤レンガ倉庫ではなく、山下公園で行なわれました。ジョギングやペットの散歩の途中に立ち寄られた方々も多く、爽やかな波風を感じながらの出展となりました。

また、毎月第 2 火曜日の恒例イベント「チャリティ☆ナイト」では、12 月の講師として写真家 小松義夫氏をお招きしました。小松さんならではの生活感溢れる写真を使いながら、西アフリカ諸国における年末年始の人々の暮らしについて紹介して頂きました。来店したお客さんたちは、食い入るように聞き入っていました。



毎年恒例！チャリティ・コンサートin 大阪 4/15(日)

このチャリティ・コンサートの主催団体のひとつである「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」は、バザーやコンサートの開催を通じて長年にわたって「緑のサヘル」への支援活動を続けて下さっています。

支援活動 20 周年という大きな節目の年を迎える今年、ステージには、ソプラノ歌手の森麻季さんとピアニストの横山幸雄さんをお迎えします。森さんは、これまでに名立たる著名指揮者やオーケストラとの共演を重ねた日本を代表するオペラ歌手のひとりであり、横山さんは、長時間の暗譜演奏によるギネス世界記録を保持されるトップアーティストとして名高い方です。

このコンサートの収益の一部は、「緑のサヘル」が現地での活動を行なうための大切な活動資金として寄付されます。素敵なひと時を過ごしながらの国際協力、皆さん奮ってご参加下さい！



日時： 2012 年 4 月 15 日(日)
場所： 大阪府池田市民文化会館アゼリアホール
料金： 前売券 3,800 円、当日券 4,300 円(全席自由席)
主催： アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会、(財)池田市民文化振興財団、中西クリニック
後援： 池田市、池田市教育委員会、池田市公益活動促進協議

- 【 お問合せ 】
- ◇ 池田市民文化会館
(Tel: 072-761-8811)
 - ◇ アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会
(Tel: 072-761-0508)
 - ◇ 中西クリニック
(Tel: 072-762-7275)

新インターンのご紹介とお別れ

東京事務局では、通常業務の補佐やイベントへの出展準備、民芸品等の管理など、多くの作業をインターンの方々をお願いしています。これまで支えてくれたインターン修了生からの一言と新しいインターン生をご紹介します！

昨年 12 月よりインターンをさせて頂いております、立教大学の青本と申します。私は国際協力と環境問題への取り組みに関心があり、昨年はトーゴの環境 NGO にて 7 か月間程インターンをしておりました。これからどうぞ宜しくお願い致します。 青本 有加



6 ヶ月間、緑のサヘル事務所の明るい雰囲気の中で仕事が出来て、とても良い経験になりました。これからは一支援者として活動を応援していきます。今までありがとうございました！
花野 一平



ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

西田陽子／内藤篤／国岡裕子／天野洋子／上野幸子／後藤琢雄／中村洋
野口鉄雄／加藤和雄／柏原竜一／井上幸子／河合令子／加藤正好／本多れい子
宮田春夫／水真陽一／和田隆資／鈴木幸子／高橋聖子／杉本和／小原喜代美
手嶋康／今野進／山野上素充・由紀子／瀬戸栄一・進一・謙二・泰三・義子

【 ご寄付を頂きました 】

手嶋康／宮田春夫／高橋聖子／橋訓子／小島訓子／坂本重夫／澄田静／高松千枝子
東海林茂子／須藤さい／西村豊子／河合令子／太田弘子／小林伸張／賀川麻衣
丹邦子／宮本秀子／玉岡昇治／山根二郎／村上和代／那口真理子／榎本みつ枝
石村香保子／入江成子／高木真味子／青柳美知子／上垣真木子／水島多衛子
氏岡治代／木野下章／松岡亜湖／平井一子／浅井賢太郎／太田宜子／菅沼祐子
安生弘子／山本明子／高嬉在／加藤正博／谷村泰子／山根貞夫／花垣末男・正
佐藤郁子／梶野修平／松尾伸也／斎藤せい子／内記悦子／杉本英樹／西川英宣
半羽勝子／竹中和子／稲掛京子／梅田暢子／古出睦子／川田峰子／齋藤美子
鈴木潤／大枝純／個別教育フォレスト安多秀司／(特活)WE21 ジャパンとつか
日本聖公会大阪教区婦人会／援助修道会管区本部／援助修道会仁川修道院
富谷晋／小笠原弘子／西宮聖ペテロ教会婦人会／日本聖公会西宮聖ペテロ教会
小池昌子／大段るみ子／岩手県葛巻町立江刈中学校／大阪信愛女学院小学校

他 匿名をご希望の方 6名

【 ハガキ・切手などを頂きました 】

鈴木潤／大久保久美子／田中美緒／米江律子／杉本和／大田啓子

上記は 2011 年 11 月 1 日から 2012 年 1 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2012 年 2 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

(特活)国際協力 NGO センター／(特活)環境アリーナ研究機構
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(独)国際協力機構(JICA)／アクトシステム(株)
緑の募金(管理団体：(社)国土緑化推進機構)／グローブエナジー(株)
(財)農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校／(株)サティスファクトリー
アロ・フルフルストリ 神楽坂トライプス／(財)国際緑化推進センター／(株)グリムス
(公財)イオン環境財団／(社)日本経済団体連合会／igreen(管理団体:seap)
(特活)ハンガー・フリー・ワールド／国際連合食糧農業機関(FAO)

画像を提供しました

あすとろ出版株式会社／東京書籍株式会社／連結社
ジークレイブ株式会社／大阪府茨木市／有限会社読書工房
株式会社日テレアックスオン／株式会社スリーシーズン

おしらせ

緑のサヘル 2012年オリジナルカレンダー 残りわずか!



2012 年オリジナルカレンダーはおかげさまで大好評となりました! ご購入いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

また、在庫がわずかに残っております。まだご購入されていない方、カレンダーが不足している方、この機会に是非お買い求めください。

【 もくじ 】

- | | |
|---------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・皆様へのご挨拶とお礼 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから | 7・ありがとう |
| 4・タンザニア・チャドから | 8・お知らせ |

< 編集部より >

●夜間のあまりの寒さに、暖かい毛布を買うことにしたのですが、良さそうなものは「在庫なし」の状態です。●2/14 現在、ブルキナ滞在中です。今年もサハラから砂が飛来し、砂っぽい毎日を送っています。(菅川) ●育児と仕事に追われる毎日ですが、どちらも楽しんでいます。(町) ●最近、梅昆布茶がブームです。(木藤) ●休日、コタツでうたた寝をする時に、幸せを実感します。(鈴木)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの 10 セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の 20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。
00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで 10 日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	ア イ ス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カ レ ー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チ ー ズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol. 49

編集 菅川拓也 岡本敏樹 木藤絢乃 町慶彦 鈴木香織/印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 田澤三ビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041